

．献金担当連絡室

おぎゃー献金運動発足以来40年を迎えた。40年を記念し、多年にわたり、おぎゃー献金運動を通じ心身障害児への社会運動に貢献された人々に、感謝と共に表彰を行った。

おぎゃー献金発足当時、皆無に等しかった心身障害児施設が、今や多すぎると考える人々がいる。国は入所施設の新設や定員増を伴う増改築に対して補助を出さない方針を決めた。入所施設は真に必要なものに限定するとの方針が出された。かつて、障害者救済という言葉があり、障害者福祉と言う考えのなかった時代に、おぎゃー献金運動は社会を啓発し、時代の要請に応えてきた。40年の間に社会が変わり、障害者の考え方が変わってきた。社会も障害者も入所施設を中心にした障害者福祉のあり方から発展し、障害がある人も、ない人と同じように地域で暮らすノーマライゼーションを望んでいる。一生を施設の中で終わりたくない、終わらせたくない、家族と共に「普通の場所で、普通の人のように、普通に暮らしたい」と考えるようになってきた。

しかし、脱施設の考え方がすすむ中で、施設入所を望む障害児の親たちもまた多い。障害児が成長し、地域社会の中で暮らせるほど周囲の人々の考え方が熟成していない。

そこで、障害児と家族が安心して地域社会で生活することを望む社会を創るため、障害児支援の考え方を考える必要がある。長年のおぎゃー献金運動は産婦人科医の組織を利用して、社会支援体制を訴えると共に、産婦人科関係に留まらず、広く社会の人々に産婦人科医の運動に共感を覚え、行動してもらうよう活動した。

本年も当初の目的のために以下の事業を行った。

1．献金額

平成15年の献金額は117,631,551円であった（前年より13,241,734円減）
（集計・毎年1月1日から12月31日）

2．献金PR活動

- （1）平成15年度のおぎゃー献金施設配分の贈呈式を、本部役員出席のもと、全国14支部で開催し、おぎゃー献金への理解を呼びかけた。
- （2）ラジオ短波（ラジオNIKKEI）放送、マタニティ雑誌、マスメディアを通じて、おぎゃー献金の広報活動を行った。
- （3）第30回日本産婦人科医会学術集会徳島大会（徳島県支部）において、四国ブロック内の研究費補助金交付4課題の「おぎゃー献金交付研究ポスター展示」を実施した。
- （4）日産婦医会報、JAOG Information、ラジオ短波（ラジオNIKKEI）放送等を使って、継続的におぎゃー献金の協力を呼びかけ、日産婦医会会員の意識向上に努めた。
- （5）会員に献金ポスター、献金ニュースを配布し、日産婦医会の重点事業であるおぎゃー献金への理解と協力を求めた。
- （6）日母おぎゃー献金基金ホームページに補助金配分説明書・申請書を新規に掲載した。
また、「伝言板」コーナーでは妊娠中の不安や育児等に関する相談に対応し、情報の更新や内容の充実に努めた。
さらに今年度から「インターネット献金システム」を立ち上げ、協力を呼びかけた。
- （7）「はじめまして」(旺文社)の企画、編集・取材に協力した。おぎゃー献金と障害児への理解を訴えるための記事を掲載し、毎号、郵便振替用紙を綴じ込み成果をみた。
また、「産婦人科医会からのお知らせ」コーナーを設け、タイムリーな情報の掲載に協力した。

- (8) 第29回全国産婦人科教授との懇談会で、「おぎゃー献金のしおり」「おぎゃー献金研究費配分申請についてのお願い」の資料を配付し、(財)基金と(社)日産婦医会との関わり、研究費を申請する場合の献金協力の実績、研究課題や配分を受けた後の用途等について説明を行った。
- (9) 妊婦雑誌「Pre-mo」、「Baby-mo」(主婦の友社)の別冊に、おぎゃー献金の紹介記事を掲載し献金への理解を呼びかけた。併せて、おぎゃー献金の郵便振替用紙を綴じ込み成果をみた。

3. おぎゃー献金推進月間

- (1) 推進月間を有効に活用するために、各支部におぎゃー献金推進資料を送付した。
- (2) 推進月間に向け、「献金ニュース・献金ポスター」、「おぎゃー献金のしおり」を日産婦医会発行の刊行物に同封し、全会員に配布した。その結果、推進資料の申し込みが多数あった。
- (3) おぎゃー献金推進事業の一環として、青森県、静岡県、愛知県、滋賀県、大阪府、兵庫県、広島県、愛媛県、大分県の各支部で、おぎゃー献金推進キャンペーンが行われた。

4. 対外活動報告

- (1) 第3回全国身体障害者スポーツ大会(静岡県)実行委員会に大会補助金として100万円を贈呈。おぎゃー献金趣旨の周知に努めた。
- (2) 第6回世界周産期学会(9月13日~16日・大阪市)に補助金500万円を贈呈、後援した。会場でポスター展示と献金箱等を設置しPR活動を行った。
- (3) 次世代育成支援「いいお産の日」2003(11/3・東京)において、ポスター展示と献金箱等を設置しPR活動を行った。
- (4) (社)日本筋ジストロフィー協会・第40回全国大会に協力した。

5. 新規活動

- (1) 日母おぎゃー献金・40周年記念事業
40周年を記念して献金事業に貢献した会員、医療機関職員の表彰を行った。さらに、表彰者名簿を配付した。
- (2) 先天異常に関する知識の普及
先天異常部との協力で、先天異常に関する最新の医療技術、治療を紹介するパンフレット作成に向けて検討した。
- (3) 会員への献金促進
会員に献金活動への理解を引き続き要請すると共に、分娩を取り扱わない会員にも献金活動への理解が得られるよう努めた。
- (4) 妊娠・育児に関するカウンセリング全国調査
把握した全国のカウンセリング施設に対して二次調査を行った。
- (5) パンフレットの刷新
従来の内容を見直し、郵便振替用紙を折り込み作成した。
- (6) 新たな献金事業協力
 - 1) OMCカードを利用した献金方法を検討し、実施した。
 - 2) 医療施設対象の自動販売機((株)伊藤園)を利用した献金方法を実施した。

6. おぎゃー献金配分の審査

(1) 平成15年度献金配分申請

- 1) 平成15年度(第40回)施設配分申請
施設配分補助金申請額 63,493,547円(24施設)
- 2) 平成15年度(第24回)小口配分申請
小口配分申請額 10,281,401円(25施設)
- 3) 平成15年度(第40回)研究費配分申請
研究補助金申請額 52,802,000円(30機関)
- 4) 平成15年度特別委託研究費配分申請
特別委託研究補助金申請額 3,000,000円(1機関)

(2) 平成15年度おぎゃー献金配分は、以下の通り決定した。

施設配分	(22施設)	57,566,301円
小口配分	(12施設)	5,927,246円
研究費配分	(18研究機関)	26,022,000円
特別委託研究費配分	(1研究機関)	3,000,000円
	合計	92,515,547円

7. 継続事業

従来どおり、献金ポスター・ニュース、献金箱、献金袋、領収書、献金感謝シール、郵便振替用紙、パンフレット(おぎゃー献金のすすめ)、おぎゃー献金のしおりを作成した。
会員に配布し、協力しやすい体制を維持した。

8. 第31回(平成15年度)全国支部献金担当者連絡会

平成15年7月27日(日) 京王プラザホテル

出席者: 新家副会長 他68名

(1) 平成14年度事業報告。財団庶務報告。財団経理報告。その他

(2) 平成15年度事業の推進に関する件

新規事業について説明

- 1) おぎゃー献金40周年記念事業
- 2) 先天異常部事業への援助
- 3) 先天異常治療に関するパンフレット作成
- 4) 日産婦医会会員への献金促進
- 5) 妊娠・育児カウンセリングの追跡調査
- 6) インターネット献金システムの構築
- 7) 世界周産期学会での献金のPR活動

(3) おぎゃー献金活動状況について

財団法人日母おぎゃー献金基金

理事会

[第 1 回] 平成15年 5 月10日(土) 日本産婦人科医会会議室

- (1) 平成14年度 施設配分額の一部訂正(案)に関する件
- (2) 平成14年度 収支決算(案)に関する件
- (3) 平成15年度 タイムスケジュール(案)に関する件
- (4) (財)日母おぎゃー献金基金寄附行為細則の一部変更ならびに内部規則に関する件
- (5) 本年度事業推進に関する件
- (6) 評議員変更に関する件

[第 2 回] 平成15年 7 月26日(土) 日本産婦人科医会会議室

- (1) 本年度推進事業に関する件
- (2) おぎゃー献金推進月間活動補助金の申請に関する件
- (3) 理事提出議題

[第 3 回] 平成15年 9 月20日(土) 日本産婦人科医会会議室

- (1) 第30回日本産婦人科医会学術集会・徳島大会「おぎゃー献金研究ポスター」展示への協力に関する件
- (2) 「阪神・淡路大震災が妊産婦および胎児に与えた長期的影響についての調査報告」閲覧に関する件
- (3) おぎゃー献金配分基準(案)に関する件
- (4) しおり、パンフレット作成に関する件

[第 4 回] 平成15年11月 8 日(土) 日本産婦人科医会会議室

- (1) 平成16年度 事業計画に関する件
- (2) (財)日母おぎゃー献金基金内部規則(案)に関する件
- (3) 妊娠・育児カウンセリング調査に関する件
- (4) 厚生労働省均等・児童家庭局育成環境課長よりの平成16年度「児童福祉週間」標語募集事業への協力依頼に関する件
- (5) おぎゃー献金パンフレット作成に関する件
- (6) 理事提出議題
OMCカード(はっぴーママカード)について

[第 5 回] 平成16年 2 月 7 日(土) 日本産婦人科医会会議室

- (1) 献金配分申請の審査
- (2) 平成16年度事業計画(案)に関する件
- (3) お母さんと赤ちゃんのために(Q&A)の改訂に関する件
- (4) 平成16年度「児童福祉週間」における貴団体の協力及び実施要領における名義使用に関する件

[第 6 回] 平成16年 3 月 6 日(土) 東京會館レストランブルニエ

- (1) 平成15年度 補助金配分に関する件
- (2) 平成15年度 収支決算見込み(案)に関する件

- (3) 平成15年度 事業報告(案)に関する件
- (4) 平成16年度 事業計画(案)に関する件
- (5) 平成16年度 理事会開催回数に関する件
- (6) 平成16年度 収支予算(案)に関する件

評議員会

[第 1 回] 平成15年 5月10日(土) 日本産婦人科医会会議室

- (1) 平成14年度 施設配分額の一部訂正(案)に関する件
- (2) 平成14年度 収支決算(案)に関する件
- (3) 平成15年度 タイムスケジュール(案)に関する件
- (4) (財) 旧母おぎゃー献金基金寄附行為細則の一部変更ならびに内部規則に関する件
- (5) 本年度事業推進に関する件

[第 2 回] 平成15年 7月26日(土) 日本産婦人科医会会議室

- (1) 本年度推進事業に関する件
- (2) おぎゃー献金推進月間活動補助金の申請に関する件

[第 3 回] 平成15年 9月20日(土) 日本産婦人科医会会議室

- (1) 第30回日本産婦人科医会学術集会・徳島大会「おぎゃー献金研究ポスター」展示への協力に関する件
- (2) 「阪神・淡路大震災が妊産婦および胎児に与えた長期的影響についての調査報告」閲覧に関する件
- (3) おぎゃー献金配分基準(案)に関する件
- (4) しおり、パンフレット作成に関する件
- (5) 評議員提出議題

[第 4 回] 平成16年 3月 6日(土) 東京會館レストランブルニエ

- (1) 平成15年度 補助金配分に関する件
- (2) 平成15年度 収支決算見込み(案)に関する件
- (3) 平成15年度 事業報告(案)に関する件
- (4) 平成16年度 事業計画(案)に関する件
- (5) 平成16年度 評議員会開催回数に関する件
- (6) 平成16年度 収支予算(案)に関する件
- (7) 理事・監事選出に関する件

9 . 基本財産

(H16. 3. 31)

摘 要	歳 出(単位：円)
財団設立時	466,772,437
昭和54年度	4,001,494
昭和55年度	82,290,608
昭和56年度	63,900,174
昭和57年度	38,252,149
昭和58年度	45,568,423
昭和59年度	66,641,128
昭和60年度	46,531,393
昭和61年度	56,080,218
昭和62年度	49,637,506
昭和63年度	50,905,019
平成元年度	40,306,340
平成2年度	7,501,136
平成4年度	100,000,000
平成14年度	71,611,975
合 計	1,190,000,000

静岡銀行のみ

平成3年度、平成5年度から平成13年度、平成15年度は平成15年度基本財産への繰入れは行わなかった。

平成14年度に国債を購入した。

10. 施設、小口、研究費配分および献金収入は次の通りである。

(1) 15年度支部別献金配分

摘 要	歳出(単位:円)	第40回施設、第24回小口、第40回研究費配分他
北海道	1,242,300	施設1件、
青森県	1,479,125	小口3件
宮城県	1,622,250	施設1件
秋田県	5,000,000	施設1件
東京都	6,201,850	施設2件
山梨県	2,050,430	施設1件
長野県	2,195,032	施設2件
新潟県	6,445,460	施設2件
愛知県	1,408,770	小口3件
大阪府	6,000,000	施設1件
兵庫県	3,312,670	施設1件
広島県	4,095,000	施設2件
香川県	453,390	小口1件
愛媛県	1,116,087	小口2件
高知県	2,611,291	施設2件
福岡県	4,870,000	施設1件
佐賀県	5,985,000	施設1件
長崎県	495,904	小口1件
熊本県	2,281,440	施設1件
宮崎県	3,653,578	施設3件
鹿児島県	973,970	小口2件
研究費	1,798,000	北海道1件
"	1,550,000	宮城県1件
"	2,000,000	埼玉県1件
"	7,600,000	東京都5件
"	1,000,000	静岡県1件
"	2,320,000	愛知県3件
"	1,800,000	兵庫県1件
"	1,654,000	岡山県1件
"	1,800,000	高知県1件
"	1,600,000	福岡県1件
"	1,900,000	長崎県1件
"	1,000,000	大分県1件
特別委託研究	3,000,000	横浜市立大学先天異常モニタリングセンター
静岡県	1,000,000	障害者スポーツ大会(国体開催地)
集金管理委託費	6,900,433	
推進月間補助金	3,912,224	
合 計	104,328,204	

(2) 平成15年度献金収入

【支部別集計一覧・会員一人当たりの額】

平成15年度分

平成15年12月31日現在(単位円)

支部名	(A) S39.7~H14.12 累計	(B) 15年度分 1月~12月	(C) 総累計 39.7~平15.12月	(D) 正会員数	(E) 会員一人当り B/D	(F) 会員一人当り C/D
北海道	136,914,499	1,893,713	138,808,212	429	4,414	323,562
青森	36,260,866	1,246,297	37,507,163	106	11,758	353,841
岩手	33,344,877	878,006	34,222,883	110	7,982	311,117
宮城	130,771,715	2,575,113	133,346,828	235	10,958	567,433
秋田	49,860,937	2,118,055	51,978,992	110	19,255	472,536
山形	58,672,711	934,896	59,607,607	86	10,871	693,112
福島	53,096,984	962,509	54,059,493	195	4,936	277,228
茨城	42,383,764	1,979,662	44,363,426	192	10,311	231,060
栃木	58,329,774	723,105	59,052,879	170	4,254	347,370
群馬	55,081,310	1,854,733	56,936,043	197	9,415	289,015
埼玉	170,266,004	5,883,306	176,149,310	482	12,206	365,455
千葉	108,670,522	1,172,083	109,842,605	429	2,732	256,043
東京	320,301,879	6,798,212	327,100,091	1,326	5,127	246,682
神奈川	213,163,991	5,645,404	218,809,395	776	7,275	281,971
山梨	32,637,892	981,153	33,619,045	83	11,821	405,049
長野	62,668,270	1,718,179	64,386,449	208	8,260	309,550
静岡	102,516,047	2,298,335	104,814,382	232	9,907	451,786
新潟	55,690,789	1,361,628	57,052,417	202	6,741	282,438
富山	74,176,037	1,774,823	75,950,860	103	17,231	737,387
石川	31,167,266	586,333	31,753,599	120	4,886	264,613
福井	28,012,032	278,701	28,290,733	64	4,355	442,043
岐阜	109,757,786	2,528,867	112,286,653	170	14,876	660,510
愛知	393,807,455	9,255,333	403,062,788	548	16,889	735,516
三重	60,375,859	1,767,899	62,143,758	171	10,339	363,414
滋賀	31,145,179	1,010,687	32,155,866	131	7,715	245,465
京都	58,220,113	2,436,510	60,656,623	361	6,749	168,024
大阪	204,950,691	6,098,591	211,049,282	1,033	5,904	204,307
兵庫	121,192,435	7,099,835	128,292,270	545	13,027	235,399
奈良	56,263,091	1,498,580	57,761,671	140	10,704	412,583
和歌山	39,913,504	904,825	40,818,329	130	6,960	313,987
鳥取	21,884,532	706,486	22,591,018	59	11,974	382,899
島根	22,186,642	405,524	22,592,166	90	4,506	251,024
岡山	88,452,106	2,948,900	91,401,006	174	16,948	525,293
広島	173,058,683	4,667,012	177,725,695	266	17,545	668,142
山口	64,506,959	797,113	65,304,072	146	5,460	447,288
徳島	47,049,042	1,155,311	48,204,353	94	12,291	512,812
香川	67,198,161	1,225,497	68,423,658	104	11,784	657,920
愛媛	111,039,767	3,683,840	114,723,607	149	24,724	769,957
高知	85,540,076	1,983,172	87,523,248	75	26,442	1,166,977
福岡	105,316,918	2,101,300	107,418,218	385	5,458	279,008
佐賀	46,661,501	598,347	47,259,848	74	8,086	638,647
長崎	64,374,233	2,228,787	66,603,020	165	13,508	403,655
熊本	125,363,985	2,461,457	127,825,442	137	17,967	933,032
大分	144,110,399	4,652,634	148,763,033	124	37,521	1,199,702
宮崎	88,719,963	1,841,819	90,561,782	109	16,897	830,842
鹿児島	141,865,020	2,636,607	144,501,627	153	17,233	944,455
沖縄	119,559,923	4,648,205	124,208,128	118	39,392	1,052,611
(小計)	4,446,502,189	115,007,384	4,561,509,573	11,506	565,591	0
その他	92,298,294	2,624,167	94,922,461	-	0	0
合計	4,538,800,483	117,631,551	4,656,432,034	11,506	9,995	

(3) 平成15年度献金配分

1) 平成15年度 施設配分一覧(第40回)

No	支部名	施設名	使用目的	配分額
(1)	北海道	社会福祉法人 うみのほし学園	集会室窓改修工事一式	1,242,300
	秋田	社会福祉法人 東山学園	プレイルーム増設工事一式	5,000,000
(2)	宮城	登米地域広域行政事務組合 登米広域こじか園	園庭遊具(パティオランド)	1,622,250
(4)	東京	東大和市立 やまとあけぼの学園	機能訓練用具 (プール、手すり付ステップ)	1,466,850
		社会福祉法人 島田療育センター	マイクロバス16人乗り (特別仕様車イス5台)	4,735,000
(5)	山梨	社会福祉法人 つつじが崎学園	ワゴン車(8人乗り)	2,050,430
	長野	社会福祉法人 松代福祉寮	ワゴン車(5人乗り)	1,142,932
		伊那市立 小鳩園	ワゴン車(4人乗り)	1,052,100
(6)	新潟	新潟県中越福祉事務組合 まごころ学園	乗用車(7人乗り)	1,599,710
		新潟県 はまぐみ小児療育センター	電動昇降型ストレッチャー、 担架、特殊浴室工事	4,845,750
(8)	大阪	社会福祉法人 南大阪療育園	ベット28台及び付属品	6,000,000
(9)	兵庫	社会福祉法人甲山福祉センター 砂子療育園	ワゴン車(8人乗り車イス2台)	3,312,670
(10)	広島	社会福祉法人 似島学園高等養護部	浴室新設工事一式	3,150,000
		社会福祉法人 六方学園	音楽療養機器(ピアノ1台)	945,000
(11)	高知	社会福祉法人 幡多希望の家	32型テレビ1台、パソコン2台 ケーブルTV取付工事	1,439,375
		社会福祉法人 わかぎ寮	食堂用テーブル7卓、イス38脚	1,171,916
(12)	福岡	社会福祉法人 若草学園	浴室改修工事一式	4,870,000
	佐賀	たんぼぼの家	プレイルーム(宿泊施設)工事 一式	5,985,000
(13)	熊本	多良木町立 多良木学園	ワゴン車(8人乗り)	2,281,440
	宮崎	延岡子ども発達支援センター さくら園	軽自動車(4人乗り)	1,225,485
		宮崎県立 ひまわり学園	軽自動車(4人乗り)	748,093
		社会福祉法人 わかば園	園庭遊具(木製アスレチック)	1,680,000

2) 平成15年度 小口配分一覧(第24回)

支部名	施設名	使用目的	配分額
青 森	青森県立 さわらび園	電動車イス1台および付属品	500,000
	西北五広域福祉事務組合 森田学園	大型テント3台	499,275
	青森県立 八甲学園	教育診断機器、機能訓練遊具	479,850
愛 知	西春町立 なかよしセンター	音楽療法機器、歩行訓練用具	449,910
	西尾市立 白ばら学園	滑り台、デジタル身長計、体重計	469,350
	東浦町立 なかよし学園	歩行訓練用具、言語訓練用具	489,510
香 川	重症心身障害児通園事業をすすめる 「スクラムの会」	液晶テレビ、プロジェクター スクリーン	453,390
愛 媛	社会福祉法人 あゆみ学園	感覚統合教材遊具(スイングサポート フレーム、ポニースイング)	617,085
	宇和島市 あけぼの学園	機能訓練用具(エアーマット、 光源装置他)	499,002
長 崎	社会福祉法人 諫早療育センター	訓練機能遊具(ボールプール、 クッションチェア)	495,904
鹿 児 島	社会福祉法人 児童デイサービス施設 「縄文」	機能訓練遊具(積み木、ボールプール)、 音楽療法機器(スクールキーボード、 CDラジカセ)	473,970
	社会福祉法人 子どもの家療育クラブ	紫外線カットフィルム工事 ビデオカメラ、大型絵本	500,000

3) 平成15年度 研究費配分一覧(第40回)

支部名	研究テーマ	研究機関・研究者	配分額
北海道	虚血 - 再循環系を用いたラット 子宮内胎児発育不全モデルによる 病態研究	札幌医科大学産婦人科 教授 工藤 隆一 他3名	1,798,000
宮 城	胎児発育における甲状腺ホルモン トランスポーター遺伝子発現の意義	東北大学産科婦人科 教授 岡村 州博 他3名	1,550,000
埼 玉	新生児低酸素性虚血性脳症に対 する脳低温療法の臨床的検討	埼玉県産婦人科医会周産期研究会、 埼玉県立小児医療センター 保健発達部長 大野 勉 他11名	2,000,000
東 京	光トポグラフィーを中心とした 新生児脳機能と分娩時胎児心拍 所見との関連に関する研究	東京女子医科大学産婦人科 教授 太田 博明 他5名	1,600,000
	脳性麻痺発生におけるミトコンドリア 膜透過性遷移の役割に関する研究	日本医科大学附属多摩永山病院 産婦人科教授 越野 立夫 他1名	1,800,000

支部名	研究テーマ	研究機関・研究者	配分額
東 京	妊娠初期における胎児頂部所見に関する多施設共同研究	東京大学産婦人科 教授 武谷 雄二 他3名、協力施設	500,000
	ラクトフェリンによる早産抑制効果の検討	昭和大学産科婦人科 教授 岡井 崇 他4名	1,700,000
	胎児発育とPPAR の関連についての検討	東邦大学第一産科婦人科 教授 久保 春海 他6名	2,000,000
静 岡	アスピリンによる早産発症抑制機序の基礎的臨床的検討	浜松医科大学 産婦人科学教室 教授 金山 尚裕 他4名	1,000,000
愛 知	胎盤プロテアーゼとその発現を調節する転写因子AP-2の発現からみた妊娠中毒症の病態解明	名古屋大学産婦人科 教授 水谷 栄彦 他2名	888,000
	新生児頭蓋内出血の予知因子としての出生前後の頭蓋内血流動態の意義	愛知医科大学産婦人科 教授 野口 昌良 他5名	392,000
	妊娠中毒症妊婦の胎盤における血管作動物質と酸化ストレスの基礎的・臨床的研究	藤田保健衛生大学産婦人科学 教授 宇田川 康博 他3名	1,040,000
兵 庫	母体・胎児血管内皮細胞に及ぼすカフェインならびにアディポネクチンの影響 -アポトーシス発現への関わりを中心として-	神戸大学産科婦人科 教授 丸尾 猛 他7名	1,800,000
岡 山	妊娠糖尿病の簡便なスクリーニング法の確立と母体、胎児合併症発症機構に関する研究	岡山大学大学院医歯学総合研究科 教授 平松 祐司 他5名	1,654,000
高 知	新生児脳障害の発症予防を目的とした胎内治療の確立 -メラトニンの経母体的投与の効果について-	高知大学周産母子センター 教授 深谷 孝夫 他4名	1,800,000
福 岡	糖代謝異常妊婦に対する血糖値管理法の確立に関する研究	久留米大学産科婦人科 教授 嘉村 敏治 他6名	1,600,000
長 崎	母体血中に流入する胎児DNA - 定量化と臨床応用 -	長崎大学産婦人科 教授 石丸 忠之 他3名	1,900,000
大 分	早産児の脳障害に関する研究 マウス早産モデルにおける脳内サイトカイン発現のマイクロアレイ法による検討	大分大学産科婦人科 教授 宮川 勇生 他6名	1,000,000

4) 平成15年度 特別委託研究費配分一覧

	研究テーマ	研究機関・研究者	配分額
	日産婦医会外表奇形等先天異常モニタリングならびに先天異常予防、先天異常児治療ならびにフォロー体制の確立に関する研究	横浜市立大学先天異常モニタリングセンター センター長・日産婦医会常務理事 平原 史樹 全国330協力施設日産婦医会会員、 横浜市立大学職員 4名	3,000,000